



ほうおんこう
Q:報恩講をなぜ勤めるの? A:仏教を庶民の手に取り戻した親鸞さんへの感謝です
 クリスマスがキリスト教徒にとって、とても大事な日のように、浄土真宗の門徒にとって、親鸞さんの亡くなった日 11/28 は大事な日です。なぜ大事かという、鎌倉時代に親鸞さんが世に出るまで、仏教は権力者や貴族などの一部の特権階級の人たちが、自分の平穩無事を祈るための道具であり、一般庶民には全く縁のないものでした。つまり多くの庶民は、比叡山や高野山といった既成の仏教から見放され人間扱いされることもありませんでした。そういう私たち庶民こそ尊ばれる仏教を探し抜いて出会ったのが、「南無阿彌陀仏と称える他なし」という教えでした。これによって、権力者だろうと貧しい庶民だろうと、厳しい修行を積むとか積まないなどの一切の条件付けをせずに救われると説いたのです。このおかげで、私たちは今気軽に仏様を拜むことができ、誰もみな人間として尊ばれるべきだという、ごく自然な人間観を手に行っているのです。その感謝が報恩講なのです。

寺ともさんごほれ話 寺ともコミュニケーション・インフォメーションの欄で掲載させて頂いたイベントが

次々に開催され大成功だったという便りが届いています。まずは 11/13 の「第3回四国てんとう虫マラソン」には県内外から500名の方が参加されたと報じられました。次に 11/20 の倉本先生の「ヨーガ文化講演会」も盛大に開かれました。講演会に先だつオープニングセレモニーで、高松第一高合唱部が合唱を披露しました。これには愛娘も参加しており、会場では合唱部の面々が大写しになったそうで、何名かの方から目撃情報が寄せられました。そして 11/26.27 の劇団マグダレーナ「爆笑劇・どっこい生きている！」を観に行ってきた方からお便りを頂きました。「～今回は喜劇仕立てで大笑いしてきました。相変わらず讃岐弁オンリーのセリフで、なんとも言えない『間』が笑わせてくれます。お年寄りの方言は良いですね。今回はこんまい会場だったので、すごくライブ感ありました。『権田原さん』が私的にはサイコーでした」と。各分野で寺ともさん大活躍で、素晴らしいです。

- 名前：ミウ
- 性別：♀
- お年：17歳以上
- 種類：雑種
- 好物：カニかま
- 苦手：同居のネコ
- 住所：三木さん宅(高松市)
- 性格：甘えん坊

ご自慢のペットちゃん



ペットちゃんを募集していまーす

エピソード：今は大人になった三木さんちのお子さんが小学生時分に、「私について来た」と言って、ご両親は全く飼う気がなかったのに、ついつい甘い顔をしたのがキッカで住み着いたそうです。同居する他のネコたちにいじめられても、エサを食べる時は俄然強く、家族の食べ物に飛びついていく程、生命力が逞しいそうですよ。見知らぬ人の前には、ほとんど姿をあらわすことがないのに、この日は私のカメラを前に写真撮影に応じてくれました♪

NHK 高松ゆう6かがわニュース「とれとれマイビデオ」



11/4夕方6時46分放送

NHK 高松の「ゆう6かがわニュース・とれとれマイビデオ」のコーナーに 10月の寺とも「整理収納セミナー」が取り上げられました。中野アナからは「最近(整理収納)流行ってますけど、モノを片付けるのって、なかなか難しいですよ」というコメントを頂きました。

おまけ

報恩講が無事終わった夜、
 「住職さんの法話がとほもよかったです。今まで何気なく読んでいたお経の意味がわかりました。これから教えて下さい」とお祈りの電話を頂きました。こちらこそありがとうございました。皆さん、おお年をお迎え下さいませ。
 @:かわら版不要の方は恐れ入りますが
 087-821-6348へご連絡を。
 *「NHK 歳末助け合い」に今回集めた¥11200を募金しました。ありがとうございました。